

令和2年度 第2回学校運営協議会

- 1 開催日時 令和3年2月9日(火) 15:30~17:00
- 2 場 所 日高特別支援学校 会議室
- 3 開 会 ○会長挨拶
○学校長挨拶
- 4 議 事 (1) 令和2年度「学校評価アンケート」結果について
(2) 学校評価アンケートについて
(3) 令和2年度「学校経営計画・学校評価シート」について
(4) 令和2年度卒業生の「進路状況」について
(5) 令和3年度「学校経営計画・学校評価シート」(案)について
(6) その他(意見交換)

5 議事概要

(1) 令和2年度「学校生活アンケート」結果について

○学校長より、「学校生活アンケート」の結果について説明

- ・いじめの定義について、再確認
- ・本校における「いじめの認知件数」とその内容

○委員より

・ICT機器を活用していくことはとても良いことであるが、子どもがタブレット画面に夢中になって、肝心な人との対話がおろそかになるようなことにならないように注意して行く必要がある。

(2) 学校評価アンケートについて

○学校長より、児童生徒、保護者、教職員アンケートの結果について説明

○委員より

・教職員アンケートの14「あなたは児童生徒の自己肯定感を高める努力をされていると思いますか」の評価が、肯定的な評価である「そう思う」「ややそう思う」の合計が98%となっている。先生たち自身が、自分の言葉や自分の行動を意識できており、それが子どもたちの自己肯定感を高めることにつながっているということが分かり、大変うれしく思う。

(3) 令和2年度「学校経営計画・学校評価シート」について

○学校長より、令和2年度の学校経営計画の年度末評価について説明

○委員より

＜専門性の向上 ～主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業づくり及び授業改善～＞について

- ・授業の録画ビデオでの参観は利点も多いと思いますが、生徒個々の反応は分かりにくい部分もあると思います。参観週間での保護者の意見なども知りたいです。
- ・「主体的な学び」については、学ぶことへの興味や関心をもつこと、見通しをもって粘り強く取り組むこと、自己の活動を振り返って次につなげることが大切だと思います。
- ・主体的・対話的で深い学びの視点を生かした授業改善について、授業改善は教師の力量アップが図られたことは分かる。一方で、児童生徒側の変容がどうであったかがないと評価しにくいのでは。
- ・先生方の児童生徒に対し、自己肯定感を育むという意識をもって指導に当たっている取組が、子どもの変容において効果を上げているものと思う。
- ・公開授業などにおいて、子どもたちに寄り添った授業が行われ、先生方のご苦勞が実ったように思われます。今後もかたちにとらわれず、子どもたちに寄り添う授業の継続をお願いします。

＜キャリア教育の充実～キャリア発達段階に応じた適切な教育の推進及び進路指導の充実～＞

- ・就労に対してまだ漠然としていますが、懇談等で将来のために身に付けておいた方がよい行動、(就労に直接つながらなくても、職場等で理解が得られやすい振舞など)を指摘されることがあり、家庭内でも大変役に立っています。
- ・アフターケアや進路先の新規開拓件数などは大変な状況の中、本当に嬉しく思います。
- ・アフターケアに関して、相談したい時の窓口はどなたにしたらいいのか、保護者側へ案内していただけるとありがたいです。
- ・学校全体を見ていく姿勢を各教員がもつことが必要である。(自分の担当分野だけでなく、カリキュラムと連動して行えているのか、学校の一員としてトップダウンだけでなく、ボトムアップで提案もできているか。)
- ・小学部、中学部、高等部それぞれのキャリア発達段階表に基づき、各学部での指導及び個別の指導計画を策定し、次の学部に引き継いでいくことを通して、児童生徒がそれぞれの時期にふさわしい学習が積み上げられていると思う。卒業時の進路に対する生徒の心持ちを保護者の方から聞かしていただき、キャリア教育が進路指導だけでなく生徒自身が将来の生き方についても考える力がついてきている様子が見られる。
- ・アセスメントシート、実態把握、指導計画は、子どもたちの発達も個人で違っているでしょうから、作成も大変だったことでしょう。モニタリングも重ねながら子どもの記録が残ることで卒業後の企業や事業所での対応に役立っていると思う。
- ・児童生徒一人ひとりに合わせたキャリア教育はとても大変だと思うが、もっとこまめにやっていただければと思う。
- ・学部を越えた研究授業(事後協議)への参加など、良い取組だと思います。ただ、保護者のアンケート回答で、どうして保護者の方が「そう思う」のかについて掘り下げてみることも必要ではないかと思っています。

<障害者スポーツ・生涯スポーツの推進>

- ・コロナ禍で各種イベント、大会が中止となる中、校内での実施は参加の裾野が広がり良いと思います。
- ・生涯スポーツという点で卒業後のスポーツへの参加状況などもデータとして知りたいです。
- ・障害のある児童生徒の体力づくりに始まり、障害スポーツへとつながってく。そして、学校を卒業してからも生涯スポーツとして取り組んでいる卒業生からの便りもいただいている。いろいろなスポーツ大会に参加する機会がもてなかった今年であるが、学校での体育（体づくり）の充実と小学部の児童も楽しくスポーツをするという態度が養われていると思う。

<働き方改革>

- ・個々の生徒対応は時間が掛かることも多いと思いますが、時間外勤務の軽減を期待します。
- ・日高は学校と家庭の距離が近く、生徒一人一人が同じではないので負担は大きい。精神的、体力的に大変だと思う。高知県はお金がないので無理だと思うが、補助的（フリー）な（助手）先生がいれば休みやすくなるのではないのでしょうか。
- ・先生方の評価として「課題が残る」とされてのことだと思いますが、かなり改革的な取り組みを実践され、意識の変化や、取組の効果が出ていると思います。
- ・職員同士がお互いに勤務時間について、可視化することを通しお互いが声を掛け合い、職務を理解し合うということは素晴らしいことである。その中で任すべき仕事、自分がやらなければならない仕事を整理し、職務の遂行に当たる。その中で大切なことは学校全体そして学部においても風通しの良い職場づくりが働き方改革にもつながっていくと思う。何のための業務改善か？一人一人が考えをもつことが大事だと思う。
- ・日高特支に限らず、学校の先生は業務が多く、業務の分担化、システム化をしてほしいと思う。
- ・どうしても勤務時間では足りないことがあるのは企業でも一緒ですが、管理に余裕があってもいいのではないかと思います。

(4) 令和2年度卒業生の「進路状況」について

○学校長より、資料に基づき説明

(5) 令和3年度「学校経営計画・学校評価シート」(案)について

○学校長より説明 → 承認された。